

米のカドミウムの規格基準の検討経緯について

平成21年12月2日
食品安全部基準審査課

- 昭和45年7月 米のカドミウムの基準値を1.0ppm に設定 (0.4~1.0ppm のものについては、農林水産省が非食用として買い上げ)
- 平成15年7月 食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼
- 平成18年7月 コーデックスにおいて、米のカドミウムの基準値を0.4ppm に決定
- 平成20年7月 食品安全委員会より、カドミウムの耐容週間摂取量を7 μ g/kg 体重/週とする旨の評価結果を受理、食品規格部会において審議
- 平成20年10月 食品規格部会において審議
- 平成21年1月 食品規格部会において、
 - ① 米のカドミウムの規格基準改正 (1.0ppm 未満→0.4ppm 以下)
 - ② 関係府省と連携した農産物のカドミウム汚染低減対策及び水産物の含有実態調査の推進
 - ③ 関係府省と連携した消費者に対する情報提供等を行うことを決定
- 平成21年2月 米のカドミウムの成分規格改正について、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼
- 平成21年8月 食品安全委員会より、カドミウムの耐容週間摂取量を7 μ g/kg 体重/週とする旨の評価結果を受理
- 平成21年10月 食品規格部会において審議結果取りまとめ
- 平成21年11月 意見募集 (パブリックコメント) (11月10日~12月9日)
東京、大阪において、「食品からのカドミウム摂取に係る安全性確に関する説明会」を開催 (11月10日・12日)
WT O通報 (11月末~1月末)
- 平成22年2月 規格基準改正告示公布 (予定)
- 平成23年1月 施行 (予定)

「食品に含まれるカドミウム」に関するQ&A

厚生労働省医薬食品局食品安全部

平成21年11月改訂

<1. 食品に含まれるカドミウム>

- Q1 カドミウムはどのような物質ですか？どのような害があるのですか？
- Q2 どうしてお米などの食品にカドミウムが含まれているのですか？
- Q3 どんな食品にカドミウムが含まれているのですか？どのくらい摂取しているのですか？
- Q4 お米には、どの程度のカドミウムが含まれているのですか。
- Q5 毎日お米を食べても健康に影響はないのですか？
- Q6 食品以外からもカドミウムを摂っているのですか？

<2. 規制及びリスク管理>

- Q7 国内、国外の食品中のカドミウムの規制はどのようになっていますか？
- Q8 国際基準が設定されている食品について、わが国でも同様に基準値を設定すべきではないですか？
- Q9 農産物の生産段階などにおけるカドミウムの汚染低減対策として、どのような取り組みが行われているのですか？

<3. 食品摂食時の注意事項>

- Q10 食生活において、カドミウムの摂取を減らすために気をつけることはありますか？
- Q11 いつも親戚の農家から米をもらっていますが、米中のカドミウム濃度は大丈夫でしょうか？

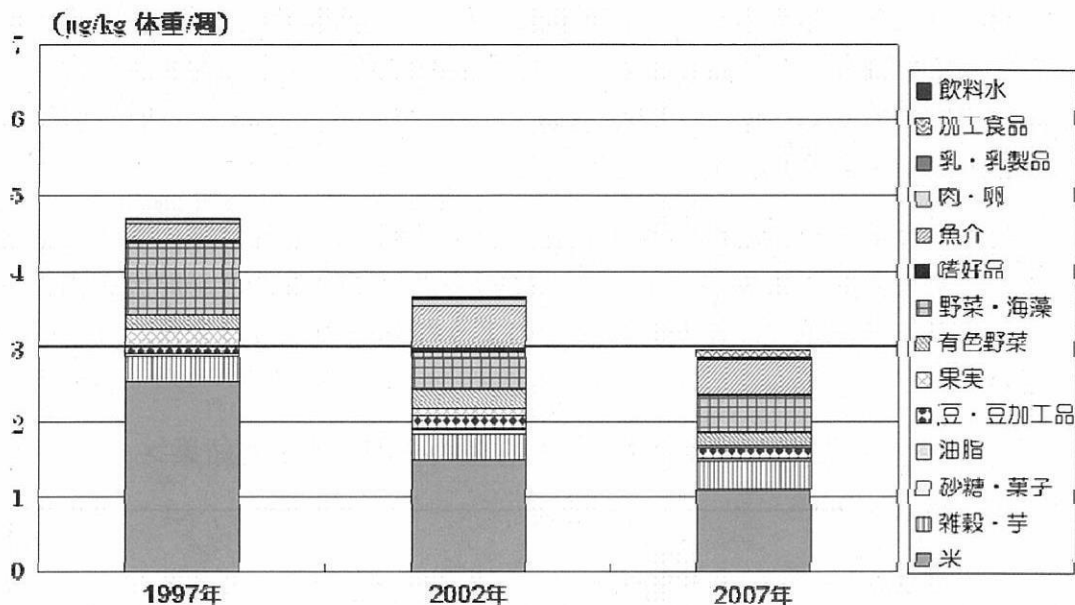
<1. 食品に含まれるカドミウム>

Q1 カドミウムはどのような物質ですか？どのような害があるのですか？

A)

カドミウムは、鉱物中や土壌中などに天然に存在する重金属で、鉛・銅・亜鉛などの金属とともに存在することから、日本においては1千年以上前から鉱山開発などにより、地中から掘り出されてきました。

＜食品からのカドミウム摂取量の経年変化＞



厚生労働省の研究機関である国立医薬品食品衛生研究所は、昭和 52（1977）年度から毎年、日常食の汚染物質の摂取量調査¹⁾を行っています。平成 19（2007）年度の調査結果によれば、日本人の日常食からのカドミウムの 1 日摂取量は、21.1 μg ²⁾（成人の平均体重を 53.3 kg とすると 2.8 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/週）であり、調査開始以降、経年変化はあるものの米の摂食量の低下などにより減少してきています。

また、2003 年 6 月に開催された第 61 回 FAO/WHO 食品添加物専門家会議 (JECFA)³⁾ の報告書によれば、各国の調査に基づくカドミウムの平均的な摂取量は 0.7 ～ 6.3 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/週、また、WHO が公表している世界の各地域の食品の消費量とカドミウム濃度から得られた地域ごとの平均的なカドミウム摂取量は 2.8 ～ 4.2 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/週となっており、我が国の摂取量は比較的低い状況となっています。

1) 国立医薬品食品衛生研究所が、地方衛生研究所と協力して行っている調査です。食品を集めて調理し、食品中に含まれるカドミウムの濃度を分析し、国民栄養調査の食品摂取量をもとに、1 日当たりの汚染物質摂取量を推定しています。

2) μg （マイクログラム）は、1 グラムの百万分の 1 の重さです。

3) 国際食糧農業機関 (FAO) と世界保健機関 (WHO) が合同で運営している専門家により構成される機関であり、食品添加物や食品中の汚染物質等のリスク評価を行っています。